



【令和5年度要求額 250百万円（250百万円）】

カーボンプライシングを速やかに導入・実施できるよう必要な調査・分析を実施します。

1. 事業目的

- ① 中央環境審議会に設置された「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」において、「新たな経済成長につなげていく原動力としてのカーボンプライシングの可能性」について審議が進められている。
- ② カーボンプライシングを速やかに導入・実施できるよう、上記小委員会の議論動向等に応じて、制度案の検討に資するよう必要な調査・分析を行い、国民各界各層に分かりやすい形でまとめる。

2. 事業内容

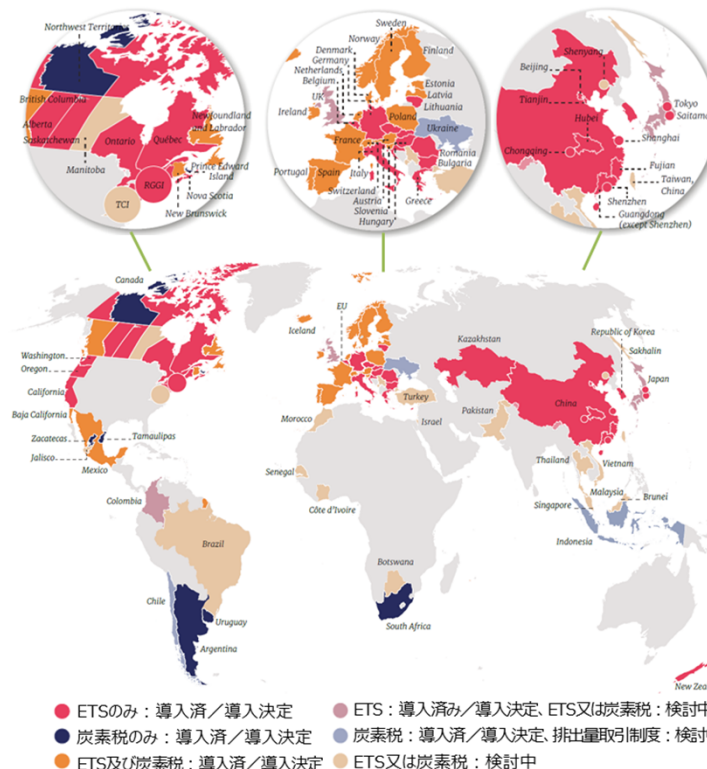
●2018年に中央環境審議会地球環境部会の下に「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」が設置され、「**新たな経済成長につなげていくドライバーとしてのカーボンプライシングの可能性**」について審議が進められているところ。また、「**新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定)**」において、「**今後10年間に150兆円超の投資を実現するため、成長促進と排出抑制・吸収を共に最大化する効果を持った、「成長志向型カーボンプライシング構想」を具体化し、最大限活用する。**」と示された。

●上記の背景も踏まえ、**2050年カーボンニュートラル・成長に資する制度を速やかに導入・実施できるようにするため**、上記小委員会の議論の動向や国内外の先行事例の状況等に応じて、**カーボンプライシングの制度案の検討に資する**ように、最新の情報と研究機関等の研究結果等に基づき、期待される政策効果と影響について実証的に**調査・分析を行う**とともに、**その結果を国民各界各層に分かりやすい形で取りまとめる**。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成29年度～令和5年度

4. 事業イメージ



※ETS：排出量取引制度

世界銀行「State and Trends of Carbon Pricing 2022」より環境省作成